

特集

いのちを継ぐ

新課程現代文教科書作品を読む

現代はいのちの意味を再度それぞれの心身が問い直す時空に在るといえるだろう。

今回の特集では、「未来世代への責任」岩井克人、「みどりのゆび」吉本ばなな、「聴くということ」鷺田清一、「虚ろなまなざし」岡真理、「病と科学」柳澤桂子、「子どもの権利条約」などの教材を読んだ3人の執筆者の感性を手がかりに、〈いのちを継ぐ・関わる・受け止めること〉〈未来世代への責任〉について考えてみたい。